

AI 顔認証端末  
置き去り防止システム



# FACE ROLLCALL

[フェイスロールコール]



AI 顔認証端末を活用し、  
園児のバス内置き去りを未然に防止。

こども園や保育園の通園バス車内における園児の置き去り事故を受け、全国的に安全対策の見直しが求められる中、このような悲惨な事故を二度と起こしてはならないとの思いから、AI 顔認証の技術と目視による点検作業を組み合わせた「置き去り防止システム」を開発しました。

Monitoring the Future



『FACE ROLL CALL』は、  
万が一の置き去り事故を未然に防ぐ  
これからの時代に必須のシステムです。

通園バスに  
置き去り防止装置』設置義務化！

政府、2次補正で対応

政府は幼稚園や保育所、認定こども園などで使用するすべての通園バスに『置き去り防止する安全装置』の設置を義務付けることを決めました。静岡県牧之原市の認定こども園でバスに取り残された女児が死亡した事件を受けた措置となります。

政府の発表では、2023年4月から、誰が運転や乗車をしているかにかかわらず、バスの乗り降りの際に点呼を行うなどして子どもの所在を確認することや、全国の保育所や幼稚園、認定こども園などの送迎バス合わせておよそ4万4000台に子どもの置き

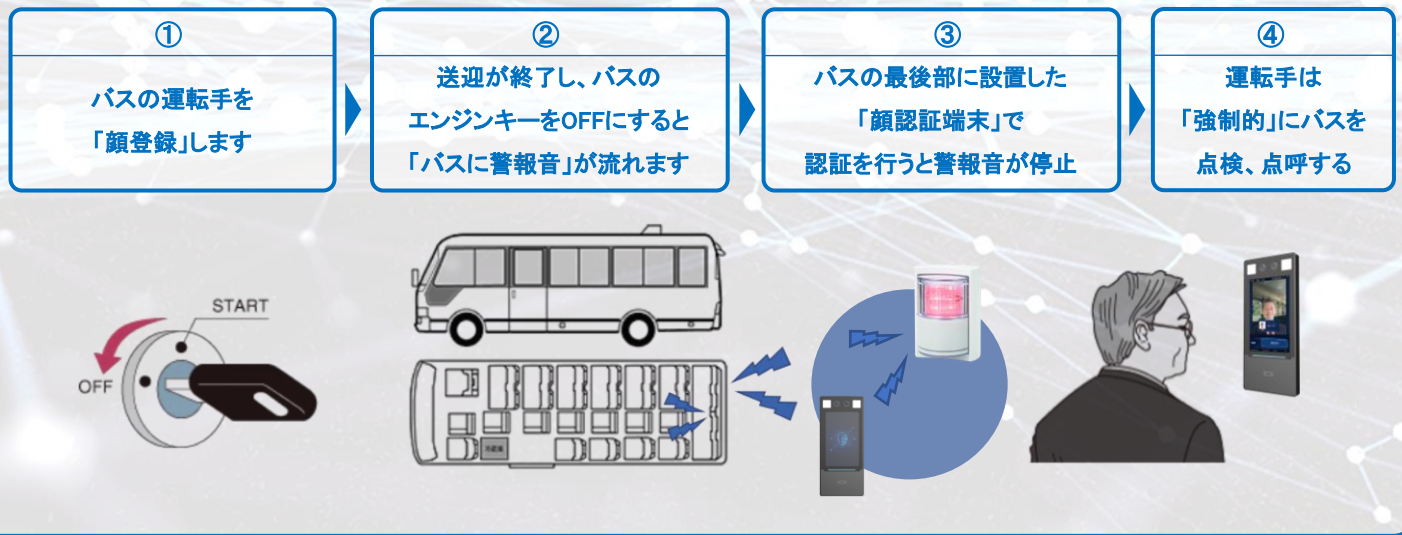


※写真はイメージです

の所在を確認することや、全国の保育所や幼稚園、認定こども園などの送迎バス合わせておよそ4万4000台に子どもの置き

去り防止するための安全装置』設置することを義務づけるとしています。本システムは、幼稚園や保育園の通園バスやスクールバスなど、あらゆる送迎車両に設置が可能となっております。

『人』で認識せざるを得ないシステムを採用。  
徹底した置き去り防止対策をサポートします。



最新速報！

2022年11月  
置き去り防止装置』設置費用の補助金決定化！

2022年11月8日、政府は置き去り防止装置の設置事業者に上限20万円で、費用の9割を補助する方向で調整していることが、小倉将信こども政策担当相より記者会見で明らかにした。

また、小中学校でのスクールバスや放課後児童クラブのバスでは設置の義務化はされないが、設置費用の一部が補助される方向である。